

美術・デザイン専攻学生向けウェブデザイン教育教材開発

今中厚志〔横浜美術大学〕

キーワード：ウェブデザイン 美術 電子書籍 デジタルリテラシー

美術・デザインを専門とする学部の大学生に対し、「コンピュータリテラシー」と「ウェブデザインⅠ・Ⅱ」と題したデジタル技術を利用して表現活動をするための基礎的技術を身につけさせるための授業を担当している。

学生の情報機器の操作をしてきた経験により、授業の習熟度が大きなばらつきがあり、授業内容の理解度を高めるための教材の開発が必要である。

コンピュータ教室にて演習形式で行うため、通常の講義室での教材とは異なったデジタル教材の導入が容易である点に着目し、ウェブページ形式で配布できる教材作成により、より理解度を高められるような教材開発が可能ではないかと考えた。本研究では、現状の紙媒体での教科書の内容を補完するための、デジタル教材の検討を行い、開発を試みる。具体的には、ウェブサイト制作のためのソフトウェアの使い方のページや動画、参考となるウェブサイトのリンク集などを開発し、学生の反応を含めた結果を報告する。

この研究を発展させ、今後は、授業展開の方法（授業資料、学生の演習内容など）の改善を予定している。

捕球場面における手がかりとなる情報
—打球方向の違いによる打撃動作の解析—

○三好 智子〔武庫川女子大学〕

キーワード：打撃動作 動作解析

捕球動作において、我々はどうのようにボールを掴むかという身体運動の情報といつどこにボールが来るかという認知的な情報を用いて動作を遂行する。そして、これらの情報は運動指導でも活用される。運動指導場面において指導者は、限られた指導時間の間に分かりやすく効率的な情報を提供する必要がある。そこで本研究では、捕球動作を遂行するための手がかりとなる認知的な情報を明らかにするために、野球の打撃動作に着目し左右方向それぞれの打撃動作の特徴について検討した。

方法としては、野球経験者にティーバッティングで遊撃手の定位置の左右方向に設置したネットに向かってゴロのボールを打つ動作を行わせた。そして、その打撃動作をハイスピードカメラで撮影し3次元動作解析を行った。

その結果、右打者では腕回転、右肘、バットラグにおいて左右方向に有意な差が見られた。また、左打者では肩回転、腰回転、左肘において左右方向に有意な差が見られた。このことから、右打者は主に腕やバットの角度を調節し、左打者は体幹の回転運動で左右方向に打ち分けることが分かった。

本研究では、限られた範囲だったのにも関わらず左右方向によって打撃動作の違いが明らかになった。今後は、この打撃動作の違いを捕球時に識別できるのかを検討していく必要がある。